

創政・公明クラブ会派研修視察報告書

創政・公明クラブ 会長 山口健一

私たち創政・公明クラブの会派6名と砂川利男議員の計7名で、2月14日～15日までの間、昨年12月に引き続き総務省に要望活動に行っていました。

2月14日15時過ぎに市役所を自家用車で出発し、17時19分発の新幹線で東京に向かい、その日はホテルに宿泊。翌日、小金井市に表敬訪問しました。

最初に、小金井市議会議長と今後の両市の議員行流等について意見交換。その後、10時から30分程度、小金井市長と懇談しました。両市は、昨年に災害協定を結んでおり、台風10号被害を受けたことで職員を派遣していただいたことに対しお礼を述べ、今後の両市の交流等について意見交換をしました。

また、その日は小金井市議会で常任委員会が開催されるとのことで、委員会を傍聴してまいりました。小金井市議会では、各常任委員会は日程が重ならないよう工夫しており、常任委員会は5日間、常任委員会には必ず市長が出席するそうです。

小金井市長には急な訪問にもかかわらず対応していただき、実りある訪問となりました。

その後、午後から今回の視察の目的である、台風10号被害による当市の財政支援について、鈴木俊一衆議院議員及び総務省を訪問し、要望活動を行っていました。

要望の内容は、特別交付税の重点的配分について、市独自の被災者支援や国庫補助対象外となる復旧経費等財政需要の増加に対して、特別交付税の重点的な配分に係る特段の措置を求めるものです。

最初に、衆議院議員鈴木俊一議員を訪問して要望書を提出し、今後の災害復興等に対し懇談してまいりました。

次に、鈴木俊一議員の秘書の案内で総務省を訪問しました。国会開会中でもあり、総務大臣以下8カ所に要望書を提出して参りました。その中で、自治財政局財政課長前田一浩氏と、野田村出身の自治財政局交付税課長 大沢博氏にお会いし、12月の特別交付税の配分に対するお礼と、今後の財政支援についてお願いして参りました。

今回の視察等は、急な日程で行いましたが、会派として実りある研修ができました。